

～～第8721回～～

燕岳

～R1. 7. 20-22～

北支部も平均年齢が高くなり、地図やパンフレットなどに記載されているコースタイムで歩けなくなってきた。ということで、今回の夏山”燕岳”は、前日、中房温泉に泊まり睡眠を十分とり、気温の低い朝、出発することとした。一日目は、安曇野地域を観光して中房温泉に入る。わさび園、大町山岳博物館（館内でふ化した雷鳥が見られる）を見学。中房温泉は、源泉かけ流しの内湯が3か所あり、ゆっくり温泉を楽しめる。

二日目、いよいよ7:30登山開始。第一ベンチ、第二ベンチへとジグザグに急斜面を登って行く。笹原に囲まれたシラビソの樹林帯だ。第二ベンチから第三ベンチは割とゆるやかな登りだ。第三ベンチから富士見ベンチ、更に合戦小屋までが急傾斜の登りで、正念場である。登山道は、花崗岩を削って作られているので、細かな砂道である。全体によく整備されている。幸いなことに曇りの天気割には、周辺の間々が眺望でき、富士見ベンチからは、文字通り富士山が眺められた。合戦小屋で名物のスイカを食べ、昼食をとる。12:30、燕山荘を目指して出発。沢の頭を過ぎると高山植物の群落が見られるようになる。イワカガミ、アオノツガザクラ、チングルマ、シナノキンバイ、ミヤマキンバイなど次々と現れ、楽しませてくれた。14:00、燕山荘に到着、ここから白い丸みを帯びた岩々から成る燕岳山頂が迫ってくる。また大天井岳を中心としたいわゆる表銀座の稜線の大展望が一望できた。山小屋へ荷物を置き、空身で山頂へ。途中の砂地でコマクサの群落を眺めながら、30分で到着した。燕山荘は、人気抜群の山小屋だが、今回、感心したのはトイレの清潔さだ。別館のトイレはすべて水洗で、使った紙まで一緒に流せて家庭のトイレと全く同じだ。この夜それほど混雑はなく、一人一畳のスペースで寝ることができた。今年の梅雨明けは遅く、天候を心配したが、上り下りとも雨に会わずに済み、幸運に恵まれた山行だった。

参加者：10名（静岡北9、磐田1）

天気：曇り

地図：槍ヶ岳、烏帽子岳

コースタイム：静岡駅 700＝1030 観光(大王わさび園、大町山岳博物館)＝1500 中房温泉(泊)730…第一ベンチ 820…第二ベンチ 910…第三ベンチ 1000…富士見ベンチ 1055…合戦小屋(昼食)1150-1230…合戦沢ノ頭 1250…燕山荘 1400-30…燕岳 1500 …燕山荘(泊)1530-630…合戦小屋 705…富士見ベンチ 750…第三ベンチ 830…第二ベンチ 910…第一ベンチ 940…中房温泉(入浴)1030＝静岡駅 1630

記録：静岡北支部 吉岡 道雄